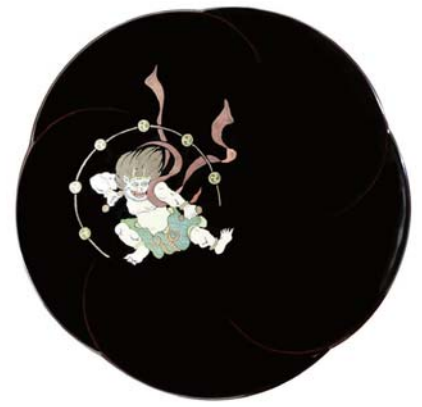




高山 秀美



嶋田 緑



杉浦 傑



高山 竜治



加藤 明人



杉本 たけ子



野村 正文

山里アート

in 岡崎信用金庫資料館

2022

3.1(火) ▶ 4.17(日)

入場
無料

時間 / 10時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 / 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
主催 / 千万町・木下ふるさとづくり委員会
協力 / 岡崎信用金庫

岡崎信用金庫資料館

〒444-0038 愛知県岡崎市伝馬通 1-58 / TEL : 0564-24-2367
[公共交通機関ご利用の場合]
名鉄本線 東岡崎駅 徒歩約 10分 / 名鉄バス 籠田公園前下車 徒歩約 2分



伊藤 勝彦



嶋田 庸平

額田の山里に根ざしアートを活かしたふるさとづくり

「額田の山里に根ざし、アートの力を活かしたふるさとづくり」をしていきたい、という思いを込めて、「山里アートin千万町楽校」が、2016年から始まりました。千万町楽校(ぜまんじょうがっこう)とは、岡崎市の水源に位置する閉校した岡崎市立千万町小学校跡地です。今回は岡崎信用金庫資料館で、山里アート作家の作品展を通じ、山里の地に足を運んでくださる人を増やし、山里の魅力を岡崎市民へ、都市住民の皆様へと発信する機会としていきたいと思ひます。

陶芸 伊藤 勝彦



1965年 愛知県津島市出身
1985年 二代 加藤春鼎先生師事
1988年以降
東海伝統工芸展、日本伝統工芸展などに入選
1998年 岡崎市に住居、アトリエ、窯を築く
(ポツンと一軒家にて放送される)

織部釉による作品を中心に制作。
名古屋栄三越百貨店、大阪神百百貨店、中部近鉄百貨店など全国百貨店で個展開催。
現在、陶芸教室「道草」(名古屋市千種区)にて講師。
岡崎美術協会理事。

陶芸 加藤 明人



自然あふれ草木しげる千万町町333号線沿いの林中に2015年春から作品を展示しています。
2019年夏、町内に工房を構えることができました。ミツバチや烏骨鶏を育て畑を耕し豊かな自然の中で、ゆったりとした時を感じ野趣溢れる作品ができたかと作陶に挑んでいます。

木工 嶋田 庸平



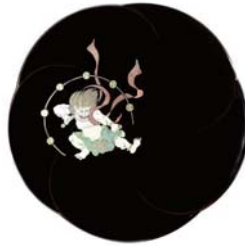
アートとスケボーと音楽好きな青春時代を送る。大学で建築と彫刻を学んだ後、庭師、林業、大工など木に関わる様々な職に就く。林業の現場で規格外の良質な国産材が活用されず、チップにされてしまう現状に疑問を抱き、木を切り製品化するまで一環して自分が関わられるような仕事がしたいと思うようになる。
2019年1月、近所の製材所が廃業するという話を聞き、自ら借り受けることを決意。
2019年4月、やまどり製作所を立上げる。木材の調達から製品化までを一環して行う事業を展開している。仕事が煮詰まったら、ジャンベを叩いて解決している。木こり仲間と構成されたバンド、岡森フォレストーズのパーカッションリスト。

植物造形 嶋田 緑



大学で建築と現代美術を学びながら、国内外を一人で放浪。愛知県岡崎市にたどり着き、植物でものづくりを始める。
2019年4月、夫とやまどり製作所を立上げる。
野山の植物の造形美や色彩を活かした作品づくりを心掛けている。

漆芸 杉浦 傑



日本の伝統工芸のひとつであります漆に魅せられ、漆芸の修業をしています。
漆芸ひとくちに言っても様々あります。蒔絵、箔絵、漆絵、沈金、螺鈿、卵殻、象嵌、平文など、一部ではありますが、様々な技法の習得に努めています。
まだまだ道半ばであり、皆様に披露するには気が引けるところもありますが、恥ずかしながら作品を展示させていただきます。
少しでも漆の世界を覗いていただき、堪能していただければ幸いです。

陶芸 杉本 たけ子



1995年
瀬戸窯業高校陶芸専攻科卒

個展

- 2021.10 ギャラリー芽楽(名古屋) 4ノリタケの森ギャラリー(名古屋)
- 2020.11 ギャラリー伽耶(安城) 3 ギャラリーノイボイ(名古屋)
- 2019. 9 ザ・ブルーボックスギャラリー(岡崎) 6 ギャラリー芽楽(名古屋)
- 2018. 3 ザ・ブルーボックスギャラリー(岡崎) 9ノリタケの森ギャラリー(名古屋)
- 2017.11 ギャラリーノイボイ(名古屋) 4 喜多美術館(奈良)
- 2016.12~2017.2 碧南哲学たいけい村無我苑(碧南)
- 2016. 9 ギャラリー島田(神戸)

グループ展

- 2021. 9 ノリタケの森ギャラリー(名古屋) 8 三越栄美術館(名古屋) 8 ギャラリーエ・ラ カシエッタ(名古屋) 1 ギャラリーエ・ラ カシエッタ(名古屋)
- 2020-2015.12「干支展」あさご芸術の森美術館(兵庫朝来)
- 2020. 9 ノリタケの森ギャラリー(名古屋)
- 2019. 3 ギャラリーテラ(オランダデルフト)
- 2018.11 日本の美意識(ドイツボン)
- 2016.12 ドイツ文化工房(ドイツケルン)
- 2015-2019.7 ミニアチュール展 ギャラリー島田(神戸)

賞歴 国際陶磁器フェスティバル美濃、陶芸ビエンナーレ、朝日陶芸展

パブリックコレクション アディロンダックコミュニティカレッジ(NY) Mudeo Del Fango(Italy Sicilia)

トンボ玉 高山 秀美



1999年長野県で美術館巡りをしている時にトンボ玉と出会い、ほぼ独学で「天とんぼ」として製作活動をしていましたが、2007年より高山竜治と夫婦で「工房天竜」として百貨店催事、作品展、各地のイベントなどで活動。
2014年に岡崎市宮崎町で、自然豊かな理想の工房と巡り合い移住しました。
きらきら輝く大好きなガラスを、どのような色や形にしようかと、自分色を大切にしながら試行錯誤しながら作り続けています。今後もトンボ玉に限らず、自分が良いと思う作品達を、この地と出会えた人々のご縁を大事にしながら、製作活動をしていきたいと思っています。

切り絵 高山 竜治



2007年から動物をモチーフとしたイラストを描き始め、高山秀美と夫婦で「工房天竜」として百貨店催事、作品展、各地のイベントなどで活動を開始。
2010年からは自分が描く絵の表現方法として「切り絵」を選択。
より良い作品の製作環境を求め、2014年に岡崎市宮崎町へ移住し製作活動をしています。
自分の絵を様々な方法で表現し、見てくれた方々の気持ちを和ませるような作品を作り続けていきたいです。

陶芸 野村 正文



つまらない作品ばかりです。でも、私の今生きている一瞬一瞬の時を費やして創りあげたものです。「鉄」と「銅」この宇宙(そら)からちよっぴりいただき、作品を創りました。この宇宙唯ひとつの作品です。
皆様方の多くのご批評が今後の成長の糧となります。ご笑覧いただき、忌憚のないご指導いただければ幸いです。